

石川 さわ子

議会レポート

ごあいさつ

札幌市議3期目として、議会活動を全力ですすめています。高齢者、子ども、障がいのある方等のお声を受け止め活かす市政の実現をめざします。今後も、皆様のご意見を是非お聞かせください。

安心・共生の21世紀を！

笑顔あふれるまち・北区をつくります

石川 さわ子

2019年第3回定例市議会 決算特別委員会質疑 報告(抜粋)

● 学校給食の食物アレルギー対応のさらなる充実を

質問 子どものアナフィラキシーショック等を防ぐため、「手引き※」を遵守し、給食の食物アレルギー対応の記録を小学校から中学校へ引継ぐ等、教職員や学校による対応の違いがないようにすべきだが、どう取り組むのか。

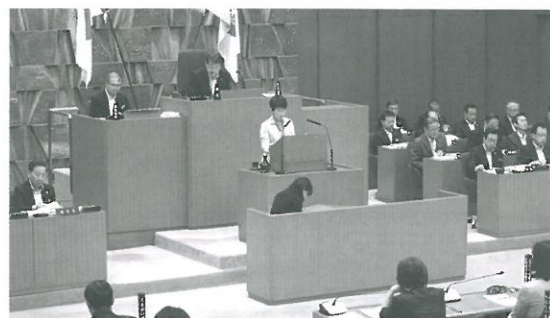
答弁 「手引き」等に基づき各学校で校内研修を実施しているが、専門家による研修も各学校に広めていきたい。

※「手引き」：学校給食における食物アレルギー対応の手引き(2008年策定)

● 地球温暖化対策の強化を

質問 2020年から始まる「パリ協定」では、温暖化対策として世界全体の温室効果ガスの排出量を今世紀後半で実質的ゼロにするとし、日本も批准している。札幌市としては今後どのように取り組むのか。

答弁 再生可能エネルギーの普及拡大に向け、太陽光発電をはじめごみや下水汚泥の焼却発電、バイオマス燃料による地域熱供給、地中熱、下水熱等の利活用をすすめる。暖房エネルギーの削減に向け、戸建て・集合住宅の高断熱・高气密化や省エネオフィスの普及促進を図る。



本会議場での議案採決にあたり、討論に立つ石川さわ子

市民ネットワークの議員控室が、市役所の17階に移動しました。お近くにお越しの際には、是非、お立ち寄りください。

新たな北区の取り組み

札幌市まちづくり戦略プラン・アクションプラン2019策定

市民ネットワークは、「アクションプラン2019」(計画期間19〜22年度)の策定にあたり、地域の課題や要望を政策化するなど、地域を応援する具体的な取り組みを求めてきました。その結果、地域のまちづくり活動の支援を行う既存事業に加え、本庁所管部局と区が連携して一体的に実施すべき事業や、区の地域性や特色を生かした事業等について、新たに個別事業として計画化されました。

(一部を紹介)

■ 伝統文化育成プログラム促進事業

北区の伝統芸能である農村歌舞伎を後世に伝えるため、地域団体が主催する公演等の支援、担い手の確保や育成手法の調査・取組をすすめる。

■ 篠路出張所スマイルアップ事業

北区北部地域における市民の利便性を高めるため、新たに敬老パスや子ども医療費助成の申請など、篠路出張所での取扱業務数を現行の21から40項目に増やす。

*札幌市ホームページ「市長宛のメール」でも、皆様の声を受け付けています。

<https://www.city.sapporo.jp/city/major/mail/koe.html>